

企画監修：NHK文化センター

西洋美術史講師 矢澤佳子先生同行

美術堪能ウィーン・ミュンヘン・アウグスブルグ8日間



《講師 矢澤佳子先生プロフィール》

やざわけいこ。西洋美術史講師。フランス国立ルーヴル学院(Ecole du Louvre、パリ、ルーヴル宮。フランス文化庁所管。フランスにおける美術史・美術館学の最高峰)にアジア圏から異例の合格を果たす。専門はキリスト教・神話・文学・寓意の図像学(主題・内容の読み解き。専門首席卒業)。美術作品の読み解きを行う講義を各所にて実施。NHK文化センター関東・中部・関西の各教室(青山・町田・名古屋・梅田・京都・神戸他)および配信にて「名画を読み解く」講座出講。わかりやすい講義で人気。「ルーヴル美術館特別解説」ツアー他、随行・解説多数

旅のお誘い

「名画を読み解く」と題し各所にて行っております講座にはいつも多くの方のご受講をいただき心よりお礼申し上げます。皆様とともに美術を堪能する旅の今回はウィーン美術史美術館とミュンヘンのアルテ・ピナコテーク二つの美術館を柱に、皇帝・大貴族・商人が築いた個性の異なる三つの都市を結びつけご提案します。また今回は初めて国際高速列車で国境を超える列車の旅を盛り込みました。夕暮れのアルプスやゆったりとした座席でいただく温かいお食事もお忘れがたい思い出となりましょう。どなた様もご参加歓迎です。

矢澤佳子



絵画芸術



雪中の狩人



バベルの塔



牧場の聖母



ダナエ

§ 旅行期間 2027年4月8日(木)～4月15日(木) 羽田空港発着8日間

§ 旅行代金 お1人様998,000円(2名1室) (空港税諸税別途)

§ 旅行企画・実施 株式会社日放ツーリスト

旅のポイント！

- ◆講師のオリジナリティに溢れる旅。講師の話や解説を交えながらの美術鑑賞
- ◆ハプスブルク家とともに繁栄したウィーンを美術に重点を置き多様な見所を訪れ堪能
- ◆皇帝の威厳を誇示するウィーン、大貴族の洗練を見せるミュンヘン、商人による自治都市アウグスブルク異なる歴史の主役が生み出した独自の美意識と文化を比較
- ◆ヨーロッパ屈指のコレクションを誇るウィーン的美術史美術館、ミュンヘンのアルテ・ピナコテークはたっぷり時間をとり見学。各自お気に入り作品を鑑賞可能
- ◆国際高速列車による国境越え。オーストリアが誇る最新鋭列車一等車両で景観の美しさで有名なウィーン-ミュンヘン間の列車の旅を。刻一刻と変化するアルプスの夕暮れとお席で温かいお食事をいただく特別な体験も
- ◆安心の全食事付。ウィーンのワインバーとカフェ文化、ミュンヘンの風格あるビアホールも体験
- ◆エールフランス羽田発着便利用
- ◆参加特典：講師作成ツアー用特製資料（印刷、白黒版）、カラー版資料（データ版）

★旅行募集要項★

- 旅行期間：2027年4月8日(木)～4月15日(木) 6泊8日(機中1泊)
- 発着地：羽田空港発着 *地方よりご参加の場合はお気軽にご相談ください。
- 旅行代金：**お1人様¥998,000(2名一室利用)** ●一人部屋追加料金 ¥150,000
- ※旅行代金には羽田空港施設使用料・欧州内空港税・燃油特別付加運賃・航空保険料・国際観光旅客税は含まれておりません。(2026年9月時点の参考価格＝合計¥155,300円)
- なお、この金額は航空券発券時の為替レート、燃油価格により変動します。この料金は最終のご請求書にて一括請求させていただきますので予めご承知おき下さい。
- 募集人員：24名様 ■最少催行人員：18名様
- 募集受付開始日：2026年10月26日(月) AM10:00より *左記期日前の申し込みは受付出来ませんのでご了承ください。
- 募集締切日：2027年2月3日(水) 但し、**満席になり次第締め切らせて頂きます。**
- 添乗員：羽田空港よりご帰国羽田空港まで1名同行いたします。(添乗員：羽室貴美を予定)
- 利用航空会社：エールフランス航空エコノミークラス *ビジネスクラス、プレミアムエコノミーをご希望の場合はお問合せください。
- 食事：朝食6回、昼食6回、夕食5回 *機内食を除く
- 利用予定ホテル：ウィーン：ホテル インターコンチネンタル ウィーン(5星クラス)
ミュンヘン：コートヤード バイ マリオット シティセンター(4星クラス)
- 集合・解散場所：羽田空港第3ターミナル *羽田空港前泊・後泊のご希望の場合はお問合せ下さい。
- 企画監修：NHK文化センター 青山教室
- 申し込み方法：申込書をご記入いただき、(株)日放ツーリストへFAXか郵送かメールにてお送りください。
携帯電話にてQRコードより入力いただきお送りいただくことも出来ます。
- ※2027年7月15日まで有効でない場合は、旅券申請手続きをお願いします。(出国時3カ月以上の旅券残存有効期間が必要)

★旅程表★

	月日曜	都市名(発／着)	時刻	交通機関	摘 要	食事
1	2027 4/8 (木)	羽田空港 パリ着 パリ発 ウィーン着	08:50 16:30 20:45 22:45	AF187 AF1238 専用車	■羽田空港より空路、エールフランス航空機にてパリへ ■パリ到着(乗り継ぎ) ■パリより空路、エールフランス航空機にてウィーンへ ■ウィーン到着、アシスタントと合流し、ホテルへご案内します ＜ウィーン泊＞	×
2	4/9 (金)	ウィーン	終日	専用車	■ シュテファン大聖堂 (解説つき見学) ウィーンの中心にそびえるゴシック建築の傑作。「ハプスブルク家の教会」として歴代皇帝の葬儀が行われる。屋根の紋章がカトリックとハプスブルク家が一体となりウィーンを支えた歴史を物語ります ■ シェーンブルン宮殿 (解説つき見学) マリア・テレジアが完成させた夏の離宮。ハプスブルク家の繁栄を描いた壮大な天井フレスコ画、「マリア・テレジアとその家族」の肖像画群、夫フランツ 1世を悼んで改装した「漆の間」他、マリア・テレジアが「帝国の母」としてどう自己演出したか鑑賞します ■ アルベルティーナ美術館 (自由見学) *夜間開館日 世界最高峰の素描コレクション誇る美術館。巨匠の真筆素描を多数所蔵。質の高い企画展やデッサンコレクションを鑑賞します *昼食：宮殿「騎士棟」に位置する「 カフェ・レジデンツ 」にて。宮廷に献上したレシピを再現「アップルシュトゥルーデル(リンゴのパイ)」も実演とともにお楽しみください *ティータイム：丘の上に位置しハプスブルク家の夏の離宮として使われた眺望の素晴らしい「 カフェ・グロリエッテ 」にて。ご希望の方はオレンジ香るチョコケーキ名物の「シシ・トルテ」他を各自ご自由にご賞味ください(別途費用) *夕食：おいしいパンとワイン、特産ドリンクを楽しむ伝統の軽食スタイルで ＜ウィーン泊＞	朝 昼 夕
3	4/10 (土)	ウィーン	終日	徒歩 トラム	■ 美術史美術館 (解説つき見学、自由見学～18:00まで) ハプスブルク家が600年にわたり築き上げた世界最大の私的コレクション。ピーテル・ブリューゲル父の傑作群が集う他。デューラー、クラナハ、ティツィアーノの作品群、ラファエロ「牧場の聖母」、コレッジョ「イオ」、フェルメールの「絵画芸術」他数多い必見作品をたっぷりご鑑賞いただけます。まで) *昼食：美術館中央、壮麗なドーム下に位置する「世界で最も美しいカフェ」 「KHM カフェ・旧カフェ&レストラン・イム・クンストヒストリッシェン・ムゼウム」 にて *夕食：市内レストランにて 夕食後ご希望により「 カフェ・ザッハー 」にて「オリジナルザッハートルテ」をご賞味いただきます(別途費用) ＜ウィーン泊＞	朝 昼 夕

4	4/11 (日)	ウィーン	午前 午後	徒歩 トラム 専用車	■ミラーテン教会 (解説つき見学) 美術史上価値の高いレオナルド・ダ・ヴィンチ作「最後の晚餐」実物大モザイクが所蔵される教会。ナポレオンが壁画の劣化を危惧しモザイクによる精巧な複製を命じ 8 年をかけ完成。ナポレオン失脚により行き場を失った作品をオーストリア皇帝フランツ 1 世が購入。巨大さゆえに宮殿におさまらなかった作品がここに安住の地を得ます。「もう一つの最後の晚餐」をご覧ください ■アウグスティーナ教会 (解説つき見学 * ミサ中は解説不可) 「ウィーンで最も音楽的に高潔」と言われる専門楽団によるオーケストラ・ミサをお聞きいただけます。王宮に隣接しハプスブルク家の「宮廷教会」としての役割を果たしてきた歴史的ゴシック教会。マリア・テレジアやシシイ他皇室の結婚式の舞台であり、ハプスブルク家の心臓が安置される教会です ■王宮 (解説つき見学) ハプスブルク家権力の象徴である「宝物館」所蔵作品をご覧ください。神聖ローマ帝国のレガリア (帝権の標章)、「神聖ローマ帝国の帝冠」「ロンギヌスの槍 (聖槍)」「帝国十字架」、「オーストリア帝国のレガリア」(「ルドルフ 2 世の帝冠」「王笏」「宝珠」)、「金羊毛騎士団の首飾り」他が貴重な展示品です ■ベルヴェデーレ美術館 (解説つき見学) クリムト作「接吻」「ユディト」をご覧ください * 昼食: 王宮近くのレストランにて * 夕食: ウィーン最後の晚餐を皇帝の温室であった開放的で美しい空間が魅力の王宮庭園内レストラン「バルメンハウス」にてお楽しみください <ウィーン泊>	朝 昼 夕
5	4/12 (月)	メルク ウィーン ミュンヘン	午前 午後	専用車 列車 専用車	■メルク修道院 (解説つき見学) ドナウ川を見下ろす高台に位置する壮麗な修道院を見学。息をのむような美しい図書室はとりわけ見どころ。車窓からヴァッハウ渓谷を眺めます ■自然史博物館 (解説つき見学) マリア・テレジアの夫皇帝フランツ 1 世が購入した約 3 万点のコレクションに由来。珍奇なものを集める「脅威の部屋」から科学的分類と啓蒙を目指す研究機関へ。美術史美術館と「双子の建物」として設計され、ハプスブルク家が「自然」と「文化・芸術」の両方を統治し保護する理念を象徴します * 昼食: 自然史博物館内豪華な歴史的空間ドームホールに位置する「クーペル・カフェ・レストラン」にて * ウィーン中央駅へ ■国際高速列車レールジェットにてミュンヘンへ (16 : 28 発) ファーストクラスにてゆったりと列車の旅を。夕陽に照らされるアルプスのドラマチックな眺めをご覧ください * 夕食: 列車内にてお食事をご賞味ください ■ミュンヘン中央駅 (20 : 47 頃) ホテルへ向かいます <ミュンヘン泊>	朝 昼 夕
6	4/13 (火)	ミュンヘン	終日	専用車	■アルテ・ピナコテーク (解説つき見学、自由見学) * 夜間開館日 シシイの実家バイエルン王家ウィッテルスバッハ家が数世紀にわたり築いた膨大なコレクションが核に。ドイツ、フランドル、イタリア絵画は世界でも類を見ない質と量を誇ります。デューラー、アルトドルファー、クラナハのドイツ・ルネサンス三大画家の傑作群、世界最大のルーベンスコレクション、ラファエロ「カニジャーノの聖家族」、レオナルド・ダ・ヴィンチ初期の作品「カーネーションの聖母」、ティツィアーノらヴェネツィア絵画の作品群他見どころ多数。たっぷりご鑑賞いただけます * 昼食: 美術館内レストラン「カフェ・ミュンヘン・フライハイト」にて。バイエルンの誇り、チョコレートケーキ「プリンツレゲンテントルテ」もご賞味を * 夕食: 「ホフプロイハウス」以上の歴史と持つ「ビール宮殿」と称される名門ビアホール「レーヴェンブロイケラー」にて。ブラスバンドの生演奏が響く大ホールで自家製ビールと特製レモネード片手に華やかな最後の夕食を楽しみながら旅の思い出を振り返ります <ミュンヘン泊>	朝 昼 夕
7	4/14 (水)	アウグスブルク ミュンヘン発 パリ着 パリ発	午前 午後 14 : 00 15 : 15 18 : 15 19 : 55 22 : 15	専用車 AF1823 AF274	ミュンヘンのホテルを出発。南ドイツの風景を車窓に楽しみながらアウグスブルクへ ■アウグスブルク大聖堂 (解説つき見学) 後期ロマネスク美術の傑作。現存する最古のものとして極めて高い歴史的価値を持つ 11 世紀のステンドグラス「預言者窓」をご覧ください ■聖アンナ教会 (解説つき見学) ドイツ、とりわけアウグスブルクは宗教改革の歴史と切り離せない場所。異端審問中のマルティン・ルターが身を隠した教会。デューラーがデザインに関与した「ドイツのメディチ家」フッガー家礼拝堂とクラナハ作品が並ぶ「ルター階段」をご覧ください ■アウグスブルク市庁舎 (解説つき見学) 昼食後高さ 14 メートルの「黄金のホール」を鑑賞。皇帝や貴族、教会権力によることなく市民が完成した「知恵と正義」の価値を讃える装飾体系の極致を体感し旅を締めくくります * 昼食: 市庁舎付近で伝統的なドイツ料理をお楽しみください ■ミュンヘンへ ■ミュンヘン空港着 ■ミュンヘンより空路、エールフランス航空機にてパリへ ■パリ到着 (乗り継ぎ) ■パリより空路、エールフランス航空機にて帰国の途へ <機内泊>	朝 昼 機
8	4/15 (木)	羽田	18 : 55		■羽田空港到着。おつかれさまでした	機

★ウィーン美術史美術館観賞予定作品



★アルテ・ピナコテーク観賞予定作品



※上記鑑賞予定作品は美術館の都合や諸事情によって鑑賞出来ない場合もございます。